

民法第三部（債権総論・相続）(2)

講義レジュメは、下記の私のホームページに講義時に配布するものと同じpdfファイルで事前掲載する。

[参考書等]

（参考書）

潮見佳男『プラクティス民法 債権総論 [第3版]』（信山社、2007年）ISBN:978-4-7972-2481-8

中田裕康『債権総論 新版』（岩波書店、2011年）

窪田充見『家族法 民法を学ぶ』（有斐閣、2011年）ISBN:978-4-641-13601-4

中田裕康・潮見佳男・道垣内弘人編『民法判例百選ⅠⅡ 債権 [第6版]』（有斐閣、2009年）ISBN:978-4-641-11496-8

水野紀子・大村敦志・窪田充見編『家族法判例百選 [第7版]』（有斐閣、2008年）ISBN:978-4-641-11493-7

教科書・参考書については第1回講義のおりに説明する。焦って全部買おうとたいへんなので注意。

（関連URL）

<http://www.matsuoka.law.kyoto-u.ac.jp>(私のホームページ)

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/kyoto-university-law-school-jp/departments-c01/008>(京都大学オープン・コース・ウェア 法科大学院「財産法の基礎2」（債権法全部に相当）)

（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））

明確に履修要件とするつもりはないが、民法総則はできるだけ履修済であることが、十分な理解のためには望ましい。民法総則ほどではないが、物権法・担保物権法についても履修済であることが望まれる。

事前に示すレジュメにおける教科書該当ページにざっと目を通し、レジュメの基本問題でイメージを掴む程度の予習が必要である。

講義でわかりにくかった点や、時間の関係で省略した重要判例の詳細は、上記の判例関係の教科書や参考書で見て復習して欲しい。

練習問題は、上記の京都大学オープン・コース・ウェアに掲載する予定の2011年度の法科大学院未修者用基礎科目「財産法の基礎2」の講義資料（問題集）やミニテスト（正誤と解説もある）を活用していただきたい。

以上のほか、受講者に望むことも第1回講義で詳しく述べる。

オフィスアワーは設定せず、講義後（ただし法科大学院講義がない月曜に限る）や、メール（matsuoka@law.kyoto-u.ac.jp）での質問を随時受け付けている。

↓以下の行は削除できないので無視してください。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。